

地域防災の要が競い合う 消防ポンプ操法競技大会



第60回消防ポンプ操法競技大会が6月23日(日)、町健康福祉センター駐車場で行われ、ポンプ車操法の部は第2分団、小型ポンプ操法の部は第9分団がそれぞれ優勝しました。

この大会には、町内の消防団から5チーム総勢22名が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。

大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年の前回大会から5年ぶりの開催となり、参加した22名の選手のうち、13名が初出場、7名が初めての担当操作員としての出場となりました。出場する消防団員たちは、本業に励む傍ら、早朝や夜間、ときには休日返上で訓練に励んできました。

消防ポンプ操法競技大会で良い成績を取めることはもちろん目標としているところですが、訓練を通して培った技術や団員同士の団結力は、町の安心安全を守る力となります。

優勝分団は支部大会へ

今大会で優勝した分団は、7月28日(日)に須賀川市民スポーツ広場駐車場で開かれる支部大会へ出場します。



①選手宣誓を行う第4分団指揮者
②第1線延長の余裕ホースをとる第3分団の4番員
③操法終了を審査班長に報告する第3分団の指揮者



小型ポンプ操法の部で優勝した第9分団の選手

大会結果

◆ポンプ車操法の部
優勝 第2分団
準優勝 第3分団
◆小型ポンプ操法の部
優勝 第9分団
準優勝 第6分団

優良操作員

◆ポンプ車操法の部

- 指揮者 影山圭輔 (第3分団)
- 1番員 小田川翼 (第3分団)
- 2番員 松谷滉人 (第2分団)
- 3番員 山野邊陽樹 (第3分団)
- 4番員 古川貫太 (第2分団)

◆小型ポンプ操法の部

- 指揮者 古川拓也 (第9分団)
- 1番員 小平健太 (第6分団)
- 2番員 小山将史 (第9分団)
- 3番員 本田光一 (第9分団)



ポンプ車操法の部で優勝した第2分団の選手

高まる消防団の必要性 と抱える問題

町消防団は現在、9分団と女性消防隊とで構成され、144人(令和6年4月1日)の団員が消火活動などの様々な活動を行っています。

消防団が持つ①地域密着性(地域の事情に詳しい)②即時対応力(災害対応の技能・知識を習得している)などの特性は、災害時に大きな力を発揮することが期待されており、地域防災力を支える非常に重要な存在となっています。

しかし、ここ数年は、「職業との両立が難しい」などの理由から、団員が減少傾向にあるという問題を抱えています。

近年、全国各地で災害は増加しており、町の防災力を高めることが求められています。自分の住む地域や家族を守るためにも、消防団の一員となって地域に貢献してみませんか。



消防団員、女性消防隊員を募集しています！

消防団員は、平常時には地域の防火・防災の担い手として、また、災害時には、消火・警戒などの消防活動を行い、地域防災のリーダーとしての役割を担っています。

町民の安全・安心を守るため、町を災害から守るために是非皆様のお力を貸してください。

- 入団資格 ・鏡石町内に居住、または勤務している方
・年齢が18歳以上の方
・心身ともに健康な方

●問い合わせ先 総務課 ☎62-2111



お問い合わせ、お待ちしております！



Interview



鏡石町消防団 第2分団指揮者
おおかわら かずみ
大河原 和己 さん

操法大会が初めてという団員が多く心配もありましたが、皆様のサポートもあり良い結果を残せて嬉しかったです。早朝からの練習など、普段と違う生活サイクルに慣れるまでが大変でしたが、練習を通じて団員同士の交流を深めることができ良かったです。支部大会では、町の代表としてベストを尽くします。



鏡石町消防団 第9分団指揮者
ふるかわ たくや
古川 拓也 さん

9分団として19年ぶりに優勝できて良かったです。操法大会が初めてだったりと経験が少ない団員が多かったのですが、協力し合って練習に臨みました。練習していくうちに団員たちのモチベーションが上がり、楽しんで臨むことができました。町の代表として支部大会でも優勝を目指したいと思います。